

ローカル環境の設定の仕方

【Local をダウンロードする】

公式 HP : <https://localbyflywheel.com/>

ホームページにアクセスすると、下の画面が表示されるので、「FREE DOWNLOAD!」をクリックしてください。



②「FREE DOWNLOAD!」をクリックすると、下の画面が出てきます。ここでは、下の3つだけ入力すればOKです。

◇PCはMacかWindowsか

◇Work Email：登録メールアドレス

◇Number of websites：作りたいローカルサイトの数（適当で大丈夫です。）

入力が完了したら、「GET IT NOW!」をクリックします。
ダウンロードが始まります。

Download Local by Flywheel!

It's free and always will be.

Please choose your platform:

Mac Windows

First Name

Last Name

Work Email

Company Name

Phone Number

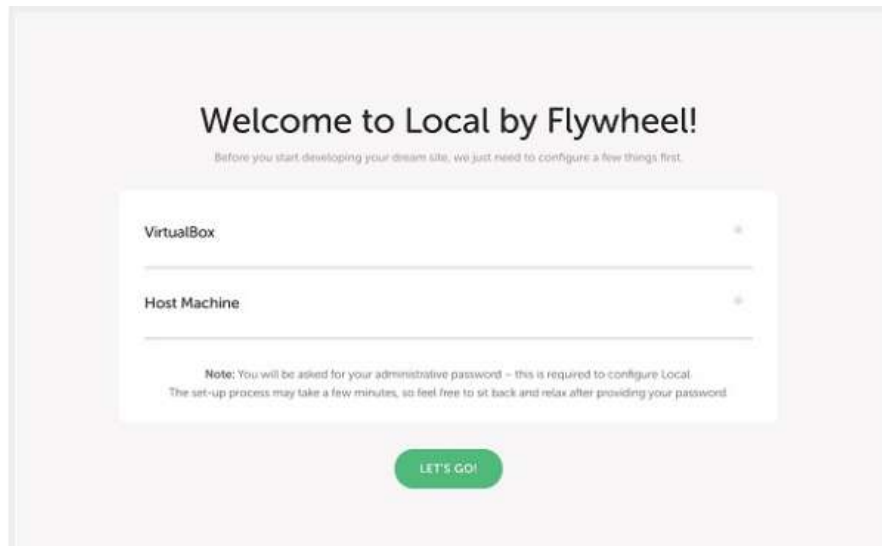
Number of websites

GET IT NOW!

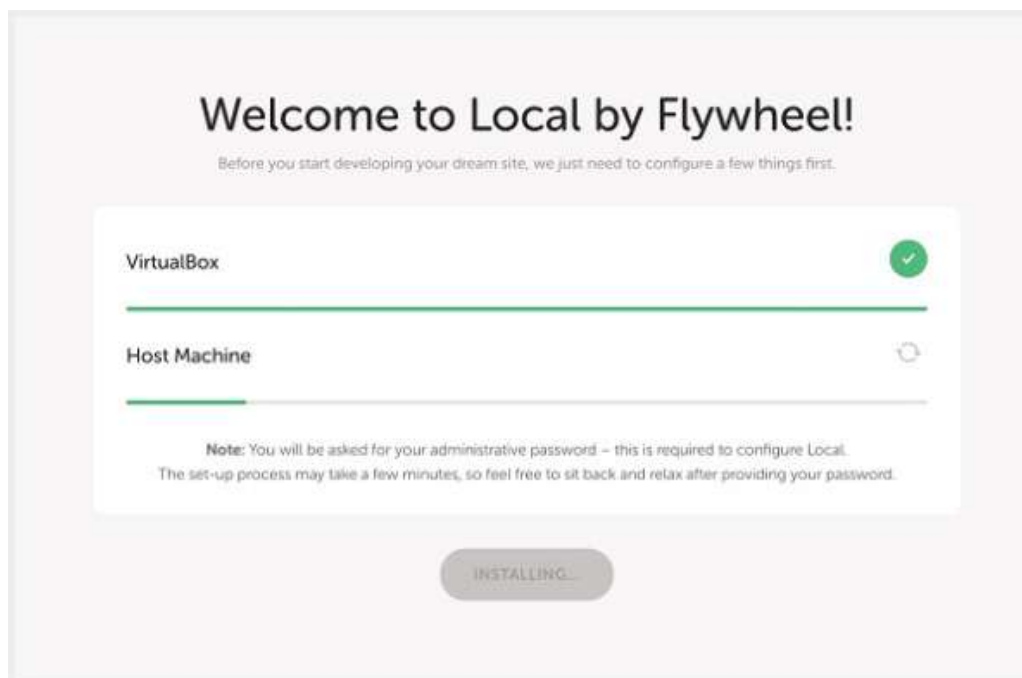
③ダウンロードが完了したら、圧縮されたフォルダを解凍して、インストールしてください。

【ローカル環境の作成】

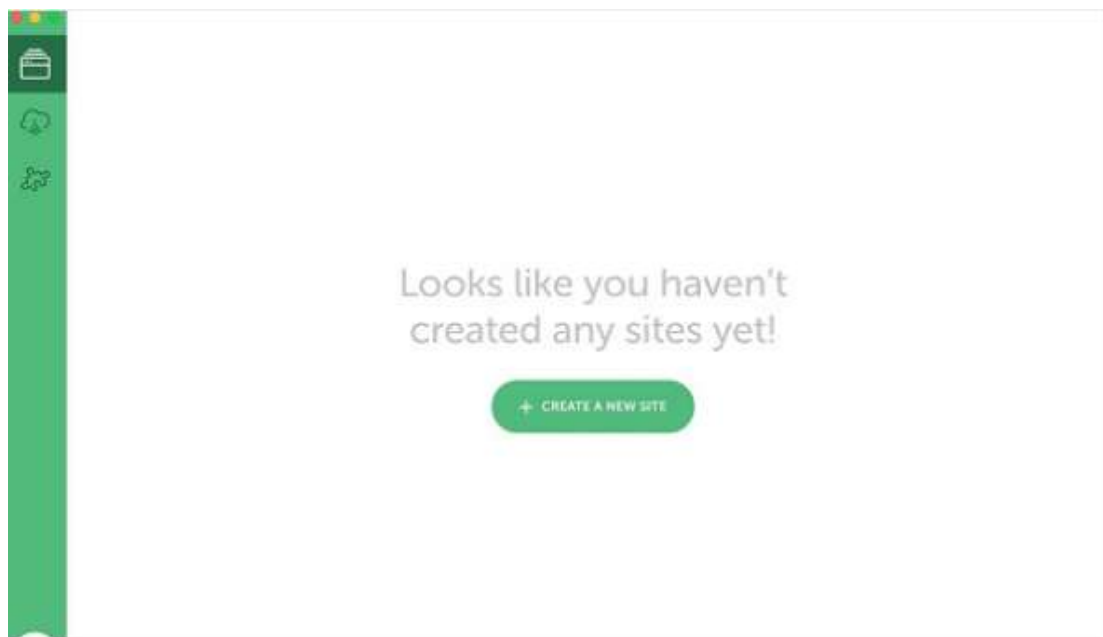
①インストールした Local を起動します。
起動すると次のような画面が表示されるので、「LET'S GO!」ボタンをクリックしてください。



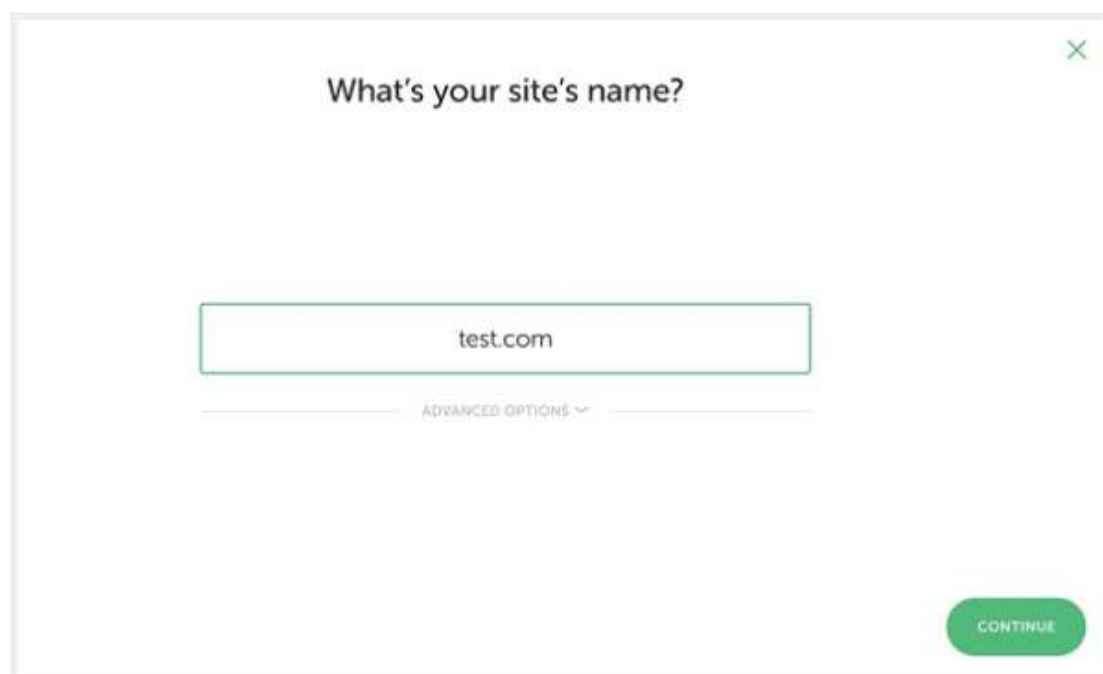
「LET'S GO!」ボタンをクリックすると、下のように環境の作成が始まります。



②WordPress の設定を行います。
まずは画像の「+ CREATE A NEW SITE」をクリック。



③すると、下のようにサイトの名前を入力するよう求められるので、好きな名前を入れてください。（例：HokushinSystemHP）その後 CONTINUE ボタンをクリック



④PHP、Web サーバー、MySQL のバージョン設定を行います。
Custom をクリックし、PHP を 7.3.2、Web Server を Apache、MySQL を 5.6 で設定して CONTINUE ボタンをクリック

Choose your environment

Preferred Custom

PHP Version: 7.3.2 Web Server: Apache MySQL Version: 5.6

Connect to Flywheel is not supported on Custom environments

GO BACK CONTINUE

⑤WordPress のユーザー作成を行います。
Username と Password を入力し ADDSITE ボタンをクリック
WordPressEmail は初期値のままで大丈夫です。

Setup WordPress

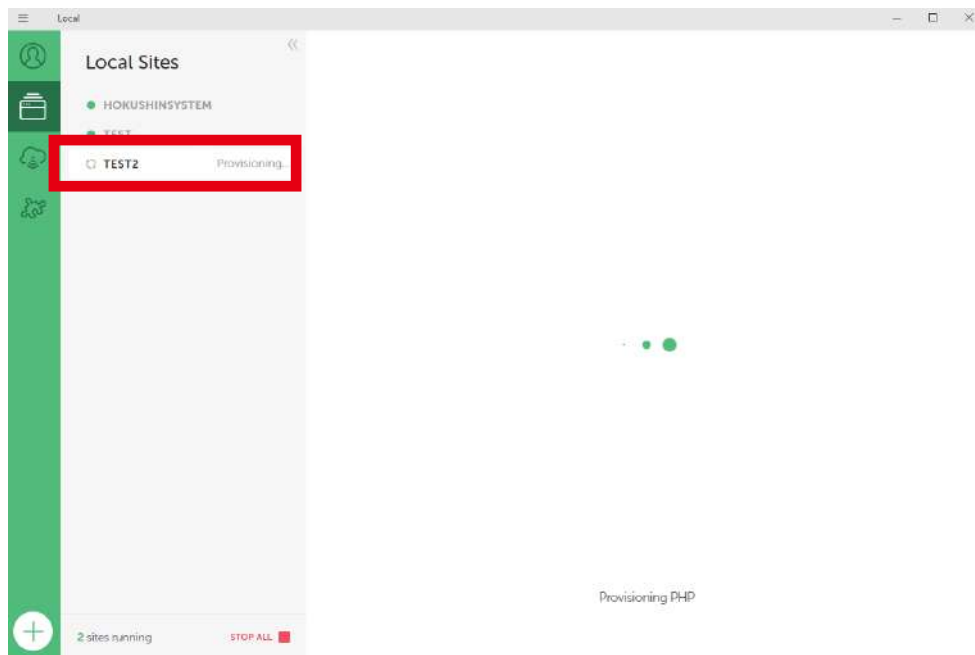
WordPress Username: WordPress Password: WordPress Email: dev-email@flywheel.io

ADVANCED OPTIONS

ACF ADD SITE

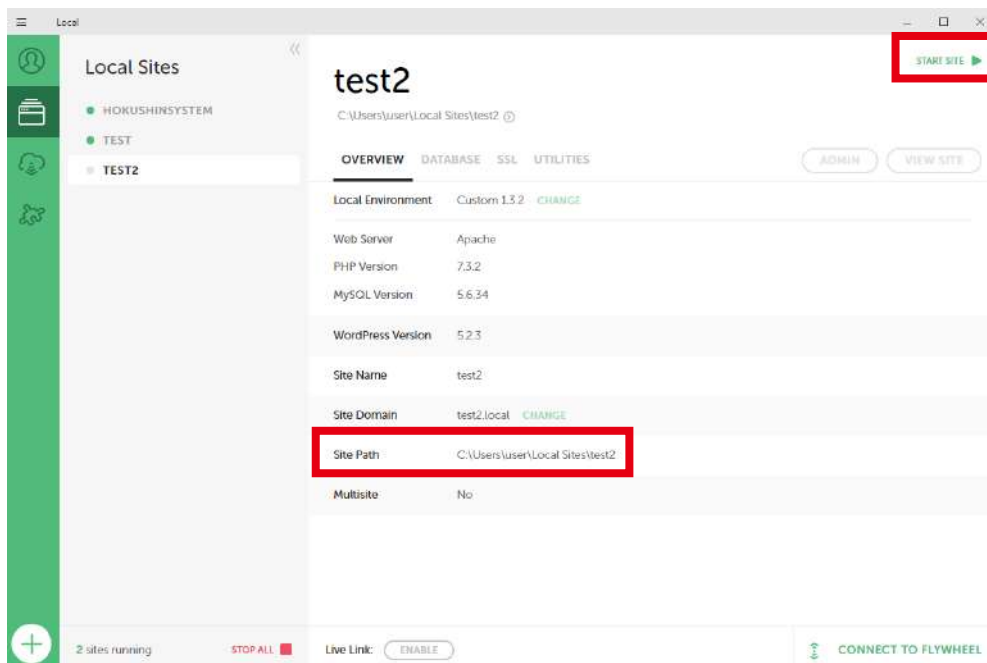
下の画面のように環境構築が始まります。

※ずっと Provisioning になっている場合は作り直しや、日を改めるとさくっと構築できることもあります。右クリックで構築中のもので削除（DELETE）することができます。



⑥構築が完了すると、下のような画面が表示されます。

右上の STARTSITE ボタンをクリックし、ADMIN ボタンで WordPress にログインします。ログイン時のユーザーとパスワードは⑤で作成したものになります。



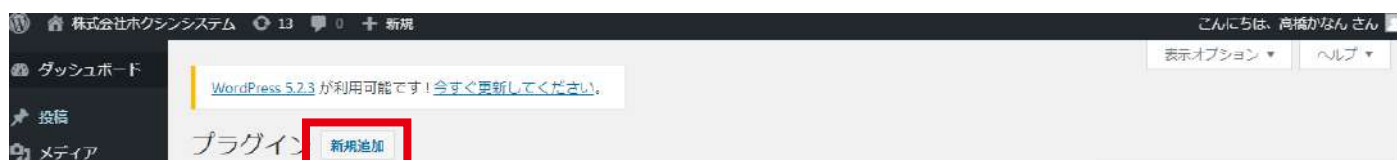
⑦先ほどの Local の画面にもどり、SitePath に書かれているフォルダの中の wp-content フォルダに Git からダウンロードしたフォルダを入れる。

例：C: ~ \Local Sites\【作成したローカル環境の名前】\app\public\

ここに wp-content 以下を上書きする。

wp-content の中はテンプレートしか入っていないので、次に WordPress 内のデータも更新する。

⑧WordPress の画面に戻り、プラグインタグをクリックする。
上の方にある新規追加ボタンをクリックし、All-in-One WP Migration と検索・インストール、有効化を行う。



2019.9.6 時点だとこんな見た目です



⑨有効化すると左側に All-in-One WP Migration のタブがでてくるので、そのタブの上をホバーし、インポートをクリック



⑩.wpress ファイル（テーマを除いてバックアップしたもの）をインポートさせます。

その後、再読み込みもしくはタブなどクリックすると、WordPress のログイン画面が表示されます。このときに使うユーザーとパスワードは別紙に記載されている「テストサイト WordPress 管理画面」のものを使用してください。



⑪インポート後ログアウトし、改めてログインする。
設定 - パーマリンク設定 - 変更を保存ボタンをクリック。

⑫これで完了です。
固定ページ・メディア・プラグインなどのデータが更新されているかチェックしてください。



Git の導入

- Git のインストール
 - Git Bush 起動
 - git config
 - git config --global user.name (ユーザー名)
 - git config --global user.email(メールアドレス)
 - git config --global core.editor "brackets --wait" (ブラケットを Git 標準エディタとする場合)
 - (リポジトリ対象のフォルダ (今回は～ Public) に移動後 Linux コマンドで)
git init
 - GitHub にリポジトリ作成 (最初は GitHub へのアカウント登録が必要)
 - SSH Key 生成
 - ssh-keygen -t rsa -b 4096 -C " メールアドレス "
 - エンター 3 回
 - SSH key を GitHub に登録
 - <https://github.com/settings/keys> に、id_rsa.pub を開いた内容を登録・
(New SSH key→key 登録、識別名称も入れる)
 - sourcetree のインストール (最初は GitBucket へのアカウント登録が必要)
 - sourcetree にリポジトリ登録←git init したフォルダをドラッグアンドドロップ
 - sourcetree でリモートを設定
- リモート名：origin
- URL/ パス： <https://github.com/mutsuoKudo/> (リポジトリ名)← GitHub に
作ったリポジトリ

- ユーザー名：GitHub アカウント

リモートの詳細設定

必要な情報

リモート名: ☒ デフォルトリモート

URL/パス:

外部サービスとの拡張統合オプション

Remote Account:

Generic Account
Generic Host

Legacy Account Settings:

ホストタイプ:

ルート URL:

ユーザー名:

拡張統合を使うと Bitbucket など外部のホスティングプロバイダとより深く連携することができます。例えば、サイトでリンクを開いたときに既存のクローンを見つけて表示し、そのままプルリクエストを作成することができます。

OK キャンセル

- gitignore の設定
- C:\Users\ 自分のユーザー名 \Local Sites\hokushinsystem\app\public にある .gitignore ファイルを以下のようにし、テーマ以外のソースを管理しないようにする

リポジトリ設定

リモート 詳細

リポジトリ固有の無視リスト

C:\Users\user\Local Sites\hokushinsystem\app\public*.gitignore **編集** クリック

ユーザー情報

☒ グローバルユーザー設定を使う

フルネーム:

メールアドレス:

コミットメッセージ中のリンク

追加 編集 削除

その他

☒ 自動的に表示を更新 (無効にした場合は手動で更新する必要があります)

☒ リモートの状態を背後で更新 (全体設定で有効な場合のみ)

設定ファイルを編集... OK キャンセル

```
Thumbs.db
.DS_Store

/wp-config.php
/.htaccess
/.htpasswd
/index.php
/license.txt
/readme.html
/wp-*.php
/xmlrpc.php
/wp-admin/*
/wp-content/*
!/wp-content/themes
/wp-content/themes/*
!/wp-content/themes/hokushinTheme_new
/wp-includes/*
.gitignore
```

- リポジトリ管理者にコラボレートを依頼する。その後上記アドレスにメールがいくので応答する。
- sourcetree のツール→オプション→SSH クライアントを OpenSSH に変更
- master をプル（※master と develop にはプッシュはしないこと）
- git flow → develop 作成 → プル
- git flow → feature1（自由に名前をつける）作成 → フェッチ
- 常用では feature1 を使う→ソースの修正→コミット→プッシュ→リポジトリ管理者に連絡